

# 東京大学ヒューマニティーズセンター 第3回オープンセミナー

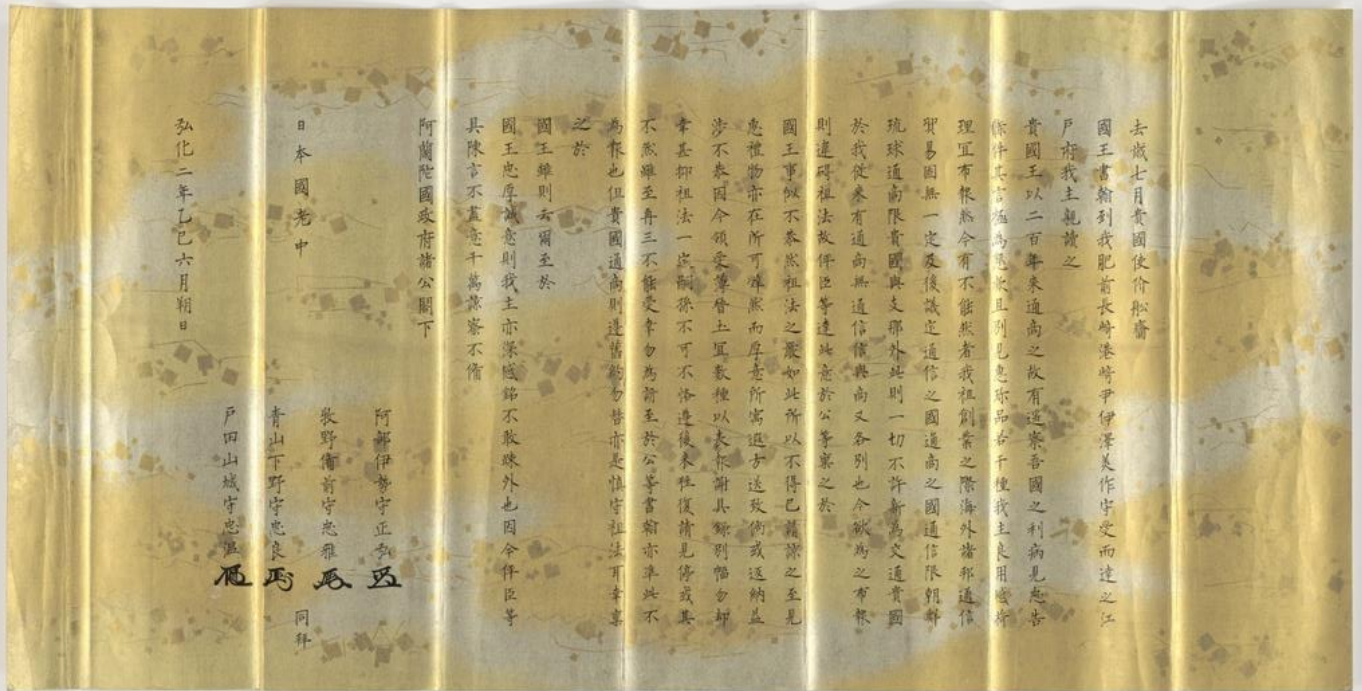
## 『外交』とはなにか—言葉を考える—

- ▶ 2018年10月26日（金）17:00 - 19:00
- ▶ 東京大学東洋文化研究所 第一会議室

入場無料 | 事前登録不要

報告者：松方冬子（史料編纂所・准教授）

ディスカッサント：葛西康德（人文社会系研究科・教授）



外務省文書ウィレム2世の将軍充ての手紙への返書（1845年）老中連署書状  
（オランダ国立公文書館所蔵：NL-HaNA, 2.05.02/3147a）

【概要】日本史・東洋史・西洋史の専門家がともに議論する上で大きな障害になるのが、言葉の違いである。「外交」はdiplomacyの訳語か、それとも『礼記』の言葉か。「帝国」はkeizerrijk（皇帝の領地）か、empire（命令の行き届く範囲）か。現在の日本の学術用語は、欧文脈（ゲルマン・ラテン）、漢文脈の交わるところに存在し、ときに互いに矛盾する複数の意味を持つことも多い。しかも、ふだん我々はあまりそれを意識していない。「外交の世界史」を記述するために重要な言葉をいくつか取り上げて考察したい。

問合せ：東京大学ヒューマニティーズセンター事務局

Tel: 03-5841-2654

E-mail: [humanitiescenter.utokyo@gmail.com](mailto:humanitiescenter.utokyo@gmail.com)

URL: <http://hmc.u-tokyo.ac.jp/ja/>



ヒューマニティーズセンター  
Humanities Center